

## 分離御技術会年会 2019 特別講演

日 時：2019 年 5 月 24 日(金) 16:30-17:20

会 場：講演会場 A (4 号館 1F ホール)

「一日も早く日常を復旧するための軽量で安価で短工期で環境性能の高い未来型防災住宅」  
名古屋工業大学大学院工学研究科 社会工学専攻 教授 北川啓介

概要： 国内外での自然災害からの復旧と復興に向けた数多くの支援の経験から、特に、共に毎年のように多種多様な自然災害が多発する日本とフィリピンの二国を対象にして、行政や市民の風土的にも文化的にも防災に対する考え方の大きな違いについてお話します。その後、そうした防災についての国や地域での文化的な大きな違いを超えて世界中で実現できることを目的として、私の研究室にて開発しています軽量で安価で短工期で環境性能の高い未来防災住宅についてお話します。

プロフィール：

国立大学法人名古屋工業大学

大学院工学研究科社会工学専攻

工学部社会工学科／工学部創造工学教育課程

建築・デザイン分野

高度防災工学センター

1974 年、名古屋城近くの和菓子屋生まれ。1996 年、名古屋工業大学工学部社会開発工学科建築コース卒業。2001 年、名古屋工業大学大学院工学研究科社会開発工学専攻博士後期課程修了、博士（工学）。2014～2018 年、JICA 草の根技術協力事業「フィリピン・ボホール州における予防／準備／対応／復旧に関する防災能力向上プロジェクト」プロジェクトマネージャー。2017～2018 年、米国プリンストン大学客員研究員。2018 年より現職。

名古屋工業大学にて建築設計を専門として、教育と研究に従事する一方で、東海地方のものづくりの文化の歴史や伝承を一般の方々へ伝えるためのインターネットラジオ『ナゴヤラジオ』のラジオ局長を務め、名古屋界限ならではの文物多様性を探るフィールドサーベイを続けている。